

西建協だより

332号

2022年3月



西建協 HP QRコード

令和三年度第二回 経営講習会 開催報告 西建協 事業委員会

建設業界の人手不足の問題にあたり、二月二十一日に事業委員会主催の経営講習会として高卒採用についての講習会を青梅商工会議所建設業部会様と合同で青梅市霞共益会館にて講師としてハローワーク青梅 事業部門 学卒担当の杉本和子様にお越しいただき開催致しました。

“学卒”と言えば新卒であり、中卒、高卒、大卒(専門学校、短大も含む)と各終業となりますが、中卒の場合は親御さんが知り合いのところで就職させる場合が多く、大卒の場合は学校に企業から直に募集広告があるためなどハローワークの利用が少なく、斡旋することとしては主に高卒の対象が多いようです。

高卒の採用にあたって、昨今の時代背景から今の高校生という年頃はどのような感受性があるのか、考え、対象の生徒の性格などをよく知る担任の先生を通しての面接方法の注意などをお話しいただき、当然のことですが自分の頃とは時代も違うことなどをあらためて考えさせられました。

そういった中、規定もふまえてどのような方法がハローワークと連動した新卒の求人、雇用がスムーズにできるのが主な内容でした。

当社も昨年に高卒の新卒を採用し、現在働いてもらっておりますが、印象としては私どもの時代と違い学科も多様となっているため、パソコンを有効に活用できる能力が高卒の時点で備わっており、図面の製図、表計算、文章処理などの技能の基本操作ができていけるほか、インターネットを活用した取引先との連携も不備なくこなせています。その新卒の社員からすれば常識だそうで、もっとレベルの高い子も多くいるとのことでした。

建設業という専門的な知識が必要なほか、経験も重要となってくる業界で、中小零細企業では高卒の早い段階で就職し、経験を多く重ねるのは後々のことを考えると良いのかとも思えます。



講習会の様子
※ コロナ対策の為、座席間隔を空けています。

西多摩建設マイスター受賞

「建設業三十五年をこえて」

清水土木建設(株) 岡部義則

この度は、西多摩建設マイスターの表彰をいただき、誠にありがとうございます。とてもうれしく思います。

自分で望んで入った建設業界ではありませんでしたが、気が付けば三十五年以上、今の仕事を良く続けていくことが出来たと思っております。これもひとえに今まで出会った方々のおかげだと感謝しております。若い頃は、作業員として一生懸命に作業に取り組み、分からない事は先輩や仲間から教わるなど着実に一歩ずつ仕事の内容を覚えてきました。また、色々な失敗もしてきましたが、今ではその経験も役に立っていると思えます。

現場監督となった現在でも分らない事が多々ありますが、日々、勉強と努力を重ね、マイスターの名に恥じぬよう、今日までの経験を次の世代の若者達に継承していけるように頑張っていきたいと思えます。

優良工事 施工体験記 「災害復旧に資する技術」

株式会社島田組

工事件名…城山川応急復旧工事(緊急施行)
工事場所…東京都八王子市叶谷町地内から
同市元八王子三丁目地内まで
城山川

施工業者…株式会社 島田組
現場代理人 黒澤 優介

この度、弊社が施工した、東京都南多摩西部建設事務所発注の災害復旧工事におきまして、「令和二年度東京都建設局優良工事表彰」と言う大変に名誉な賞を頂き、誠に有難うございました。お陰様で、無事故で、大きなトラブルもなく、竣工することができました。また、株式会社島田組の社員一同、このような名誉な賞を頂きまして、大変に喜ばしく、励みになりました。それでは、施工体験記として、書かせて頂きます。

令和元年十月に発生した台風十九号の影響によって、車道沿いの民地の一部が崩壊したこと等の災害復旧工事になります。災害状況としては、駐車場として利用していた民地の一部が崩壊し、河川内に流失したことや、既設の護岸が洗掘され、滑ってしまっていること等がありました。

現場は、車道から河床まで15m程の高低差があり、重機の搬入が困難であった為、施工箇所から下流側に200m程離れた土地の使用及び通行許可をもらい、重機の搬入を行うことにしました。重機の搬入箇所は、2mの練石積みがあり、並べた大型土のうに覆土して仮設のスロープを製作しました。重機を河川内に搬入した後、河床が洗掘され、河床に1m程の段差が出来ている箇所もあったため、大型土のうを設置するなどして重機の走行を可能する作業を行いました。使用した重機は2mのバックホウで、スロープを製作した箇所から割栗石を詰めた大型土のうを一袋ずつ河床が洗掘されて、走行が困難になっている箇所まで運搬を行い上流の施工箇所を目指していくという工程に十日程

かけ、ようやく民地が崩壊した施工箇所に通れようになりました。

重機の搬入に成功した後は、河川内に流失した土や、コンクリート擁壁の撤去作業を行いました。コンクリート擁壁撤去には、2mのバックホウに加え、2mの油圧ブレイカーを使用し、コンクリート塊は、河川上方車道部に面した土地を借り、そこからラフテレーンクレーンにて、揚重を行いました。コンクリート擁壁の撤去が完了した後は、河床整理や洗掘された擁壁下の補修及び応急処置を行いました。大まかな工種としては、このようなものですが、崩壊した民地と河川との間の法面は、地山がむき出しになっていたことが、今回の災害を引き起こす要因になったと考え、二次災害の防止のため、かご枠設置を担当監督員に提案し、施工を行うことになりました。

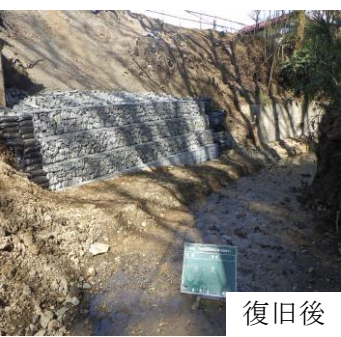
現場全体を振り返って、当時、私は入社二年目であったため、とても苦労したことを覚えています。特に重機や資材の搬入方法には、悩まされました。緊急工事は、細かい図面がなく、施工者から発注者に相談や提案をすることが大切なことだと感じました。施工をして頂いた、下請業者様に初代建設マイスターの方がいたので、知識や技術面で大いに助けられました。災害復旧に携わること、微力ながらも、地域や人の役に立てたことをうれしく思い、今後に生かしていきたいと思えます。



災害現場2



災害現場1



復旧後



作業風景

優良工事 施工体験記
「ドローン現場3Dモデル」

成友興業株式会社

工事件名…街路築造工事(29調111)
工事場所…東京都調布市国領町八丁目
地内から同市国領町三丁目地内
受注者名…成友興業株式会社
現場代理人兼 監理技術者 新山 謙
工期…平成三十年二月二十三日 から

令和二年二月二十六日まで

工事概要…本工事は調布・国領地区において、甲州街道と品川通りを接続する都市計画道路3・4・7号線の、京王線アンダーパスより南側を整備する街路築造工事でした。

①苦勞した点

この都市計画道路事業では、本工事と並行して、北側の街築工事やポンプ施設工事、道路照明工事、電気・水道工事など、並行する様々な工事と工程調整しながら施工する必要があります。今回、各関連業者の代表として、発注者から国領地区の幹事として指名を受け、関連工事が滞りなく施工できるよう、国領地区全体の資機材搬入や工程の取りまとめ・調整を任せられました。また本工事に加えて、随契工事としてφ800の泥濃式推進工を主とした下水道工事が発注されたため、二本の工事の施工と事業全体の調整管理、合わせて三足のわらじを履くこととなりました。

全ての工事を安全かつ円滑に終わらせるように発注者や関連業者と連携を取りながら、街築・下水の二本の工事を施工管理することは、かなり苦勞しました。

②工夫した点

施工に関して、起工測量にはドローンを用いて3D測量を行い、3Dモデルを作成し、施工管理に活用しました。工事への理解を深めて頂くために、近隣住民向けに完成予想図を掲示し周知するだけでなく、現況と計画の比較を3Dで可視化することで、平均断面法による土量計算への活用や、発注者との施工協議資料にも用いる

ことができ、各種施工協議をスムーズに進めることが出来ました。

③現場で得られた

やりがいや達成感
今回、随契工事として請け負った下水道工事は、追隨する他工事の工程にも大きく影響する、国領地区の都市整備事業におけるクリティカルパスでした。

安全かつ迅速に推進管を布設し、後続の工事にスムーズに移行するために、国領地区の幹事として資機材搬入管理や事業用地内の作業ヤード確保等の各種調整を取りまとめました。

その甲斐あって、発注者や他企業の関係者はもとより、近隣住民の多くの方々に、施工中は労いの言葉を、完成時は感謝の言葉を頂くことが出来

優良工事 施工体験記

「建設業はいいものだ」

株式会社村尾重機

令和二年度水道工事イメージアップコンクール技能・大口径管路工事部門 優秀賞受賞
株式会社村尾重機

現場代理人 小高 英司
監理技術者 井上 英章

この度、当社で施工した工事に令和二年度水道工事イメージアップコンクール技能・大口径管路工事部門優秀賞という大変名誉な賞をいただき身の引き締まる思いです。この工事は昭和三十九年度布設した400mmの管を耐震形の水道管(NS型)へと開削及び覆工板を用いて布設替を行う工事でした。令和二年一月から工事に着手しましたが



施工現場ドローン撮影

たことに、やりがいを感じました。近隣住民や発注者、社内のバックアップも含めて、全ての関係者のご協力があったからこそ、2年間に及ぶ工事を無事に終え、かつ高い評価を頂くことが出来ました。この経験を次の現場にも生かし、更なる地域貢献・社会貢献ができるよう、引き続き精進していきます。

◇あ と が き◇

「一般社団法人 西多摩建設業協会」令和3年4月より発足から1年が経とうとしています。

ご寄稿戴いた関係者及び、取材に協力して頂いたみなさまには感謝の気持ちで胸がいっぱいです。取材活動や編集を通して広報活動への理解を深め、人と人とのつながりを広げながら楽しんで活動させていただきました。これからも、読者層を広げ、「たのしい！ためになる！」をモットーに、社団法人としてそれに見合った新聞にできるよう精進してまいります。

春風に乗って皆様に幸せがふりそそぎますようお祈りいたしております。
～広報委員会～

2月 事業報告

- 7日 事業委員会
- 14日 広報委員会 331号編集
- 14日 総務委員会
- 15日 理事会
- 21日 第2回 経営講習会 霞共益会館

3月 事業計画

- 3日 事業委員会
- 10日 災害対策安全委員会
- 11日 広報委員会 332号編集
- 14日 総務委員会
- 15日 理事会



施工現場2



施工現場1



施工現場3

2月に新型コロナウイルスが猛威を振るうなかの施工になってしまいい現場従事者は手探りのなか感染症対策、ソーシャルディスタンス、マスクの着用、手洗いに徹底等今日では当たり前な事を行った事で現場従事者のなかから感染者を出さず事無く完成したのは大変喜ばしい限りです。

施工箇所は住宅街であり近隣に小学校、中学校、高等学校等があり第三者への事故防止対策、青梅街道の抜け道になっていいる通りのため、迂回周知対策を考慮し施工を進めておりました。そのなかで第三者事故を防ぎ工事をドライバークラッシュのお叱りの声もなく完了した事はひとえに現場従事者とのチームワークのおかげと思っております。まだまだ建設業にたいしてネガティブなイメージを持ってしまいう人々が

いるなかで、このようなイメージアップコンクール優秀賞を受賞でき今後より一層ステップアップし建設業はいいものだぞと魅力ある建設業だぞと子供達に誇れるよう頑張っていきたいと思っております。水道工事においては水道管が地中に埋設されているので見た目には何の変化も無いと思われすがいざ災害が発生した時に工事を施工しておいて良かった。となる事があります。それがライフラインを支えていると自信をもっていこうと考えております。